

平成 30 年度 小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表 会議日 平成 31 年 3 月 22 日

法人名	社会福祉法人 明和会	代表者	西川 雅浩	法人・ 事業所 の特徴	当施設は、小規模多機能ホームの両側にグループホームがそれぞれ 1 ユニットずつ併設されています。裏手の中学校があり、生徒や町内の方との交流も積極的に行っており助けられる側の施設から、町内の方の力になれるようボランティアサークルの活動も活発です。
事業所名	小規模多機能ホーム 陽だまりの郷	管理者	安藤 騰志		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1 人	0 人	0 人	0 人	2 人	1 人	0 人	6 人	0 人	10 人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取り組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	<ul style="list-style-type: none"> ・来年度は、自己評価ミーティングには常勤全員に参加していただくよう日程調整をしっかりと行い、10 人以上の参加で行う ・グループホームの職員にも来年度も参加をお願いする 	職員 8 名で評価し行っており、また参加していないスタッフについては事前に自己ミーティング用紙を提出し意見を聞いている。	<ul style="list-style-type: none"> ・取り組みがうまくいかなかった部分に関しては、なぜ出来なかったのか、改善計画が達成できる事が難しいものだったのか振りかえる事が必要と思われる 	外部評価で立てた改善計画に関しては、職員も把握しやすいよう毎月の会議の中で検討を行っていく
B. 事業所のしつらえ・環境	<ul style="list-style-type: none"> ・夏場にはカーポートに、休憩できるような環境（椅子やテーブルなど）を整え、地域の方との交流をはかる 	<ul style="list-style-type: none"> ・カーポートで地域の方が休めるよう椅子等を購入。夏休み時期は中学生が麦茶を返しに来た時に座って休むこともあった 	<ul style="list-style-type: none"> ・事業所は地域の方は用事がある時に訪れるが、事務所に誰もおらず対応が遅れることが合った。また家族さんからの意見としては、事務所に人がいる時にはすぐに出てきてくれ対応をしてくれるので特に問題はない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・玄関に入りやすいようなポスターや等を掲示。また事務所不在時の対応を陽だまりの郷全体で考え職員に周知する ・地域の方に休んで頂き、利用者さんや職員と交流できるような工夫をする

			<ul style="list-style-type: none"> ・不快な臭いや音はしない。事業所でも臭いにはもっとも気にするところであり、今後も気をつけていく ・玄関に鍵はかけていない、訪れた時も鍵がかかっていた事はない。 ・事業所の方針で鍵をかけると身体拘束になる為かけないと決めており、職員へも伝えていく 	
C. 事業所と地域のかかわり	<ul style="list-style-type: none"> ・利用している町内の民生委員さんに挨拶にいき、体調変化や自宅での変化がみられた時に連絡していただくようお願いしていく 	<ul style="list-style-type: none"> ・民生委員へは数名、独居の方や地域の方へ協力が必要と思われる方に関しては、担当ケアマネが名刺を持って挨拶にいつている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・来所時、職員は気持ちよく挨拶をしてくれている ・事業所は徐々に町内の方に知られているが、まだ中学校の裏にあるが、どんな施設かを知られていないのでは ・家族からの紹介で、相談に来られる方は多くなったと思う ・町内の行事の除草作業や花植え、盆踊りでの出店等に積極的に参加している ・オレンジカフェ運営に協力しているので、オレンジカフェで陽だまりの郷のアップールを行っても良いのでは 	<ul style="list-style-type: none"> ・オレンジカフェやふれあい横丁でのイベントを企画し陽だまりの郷知っていただく ・民生委員への挨拶は今後も行っていく
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	<ul style="list-style-type: none"> ・来年度も事業所の行事に多く参加していただくように、町で行っているスマイルポイントが付く事をアピ 	<ul style="list-style-type: none"> ・事業所でボランティアをしていただくと、スマイルポイントが付く事を、町内の方へのボランティアの呼 	<ul style="list-style-type: none"> ・町内の行事が把握できないと意見があったが、町で出している広報に様々な情 	<ul style="list-style-type: none"> ・広報誌をみながら地域との関わりを利用者も絶たないようにするため、参考にし行事計画をたてていく

	<p>ールし前年度より多くの方に参加していただく</p>	<p>びかけ時に、アピールしていなかった</p>	<p>報が掲載しているので、参考にしてみてもどうか</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の方を交えた会議は、地域ケア会議には参加している。 ・利用者さんが関わる地域の方に関しては銀行の方やお友達などとは連絡をとり、協力を得ている ・近所の心配な方へは、地域包括支援センターから相談などがある時は対応を行っている 	<ul style="list-style-type: none"> ・スマイルポイントが付く事を、ボランティア募集時アピールする
<p>E. 運営推進会議を活かした取組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・運営推進委員会での出た議題について、全体会議等で報告をする。また運営推進委員の方に職員と顔なじみの関係になっていただけよう、運営推進会議に職員も参加する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・運営推進委員会議の内容を職員へ全体会議の際に周知し、改善点などは話し合った ・運営推進委員会議に職員が順番で参加した 	<ul style="list-style-type: none"> ・運営推進委員会議で地域の方の事例検討は個人情報もあり難しいのではないかと ・内部研修で家族の意見を聞く事が出来て大変勉強になった ・地域の方の事例検討に関しては、地域ケア会議で行っているのみで運営推進委員会議で行う事はなかった ・他の地域施設へ見学に行った 	<ul style="list-style-type: none"> ・運営推進委員の方に内部研修に参加していただく ・全体会議で今後も運営推進委員会議で話し合った内容を職員へ伝える ・運営推進委員会議に今まで参加してない職員が参加する機会を作る
<p>F. 事業所の防災・災害対策</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・行政で行っている総合防災訓練に参加する ・外灯の設置を検討する。 ・夜間想定避難訓練を地域の方、運営推進委員の方に参加していただき行う 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の防災訓練は参加出来なかった。そのため、2月の防災研修で役場のレインボー講座でハザードマップの見方、また非常時の簡易トイレや簡易ベットの組み立て方を研修した ・外灯設置が出来なかった 	<ul style="list-style-type: none"> ・行政で行う避難訓練は数年に1回しか行われておらず、来年度はないと思うので、行う年は、予定を合わせ参加した方が良いと思われる ・外灯の設置に関しては、引き続き本部と連携をとり 	<ul style="list-style-type: none"> ・夜間想定避難訓練を地域の方、運営推進委員の方に参加していただき行う

		<ul style="list-style-type: none">・夜間想定の避難訓練に地域や運営推進委員に参加していただいた	ながら設置に向けての準備を進めていく	
--	--	--	--------------------	--